

激動の時代を共に歩む同志がいる——さあ、新たな一步を踏み出そう



35th

単会の
スナップショット

RINGS 01

2024-2025
AKITA-RINRI

秋田県倫理法人会会報誌リングス
■発行日／令和7年6月15日 ■発行／秋田県倫理法人会 広報委員会 〒010-0951 秋田県秋田市山王3-3-9 電話018-865-1781
■デザイン・編集・印刷／株式会社秋田精工堂

秋田県倫理法人会会報誌

RINGS

Vol. 01
2024-2025
AKITA-RINRI

企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を
希望を高く 掲げよう 自ら動こう 900 社 新たな時代を 突き進もう
秋田県倫理法人会では、心の経営を目指す人々のネットワークを拡げる活動をしています

過去・現在・未来をつなぐ

一般社団法人 倫理研究所
秋田県倫理法人会 設立35周年記念祝賀会



秋田県知事 鈴木 健太 氏



男鹿市長 菅原 広二 氏



横手市長 高橋 大 氏



秋田市長 沼谷 純 氏

『元を忘れず、末を乱さず』～手段にとらわれず、本質を捉える。

◎この度は、倫理法人会会報誌『RINGS』をご覧いただき、誠にありがとうございます。私ごとではありますが、倫理法人会に入会して今年で4年目となります。入会当時、私は親族外承継で引き継いだ会社の再建に奔走しており、経営者としての経験も浅く、戸惑いや失敗の連続でした。そんな中出会った『万人幸福の栞』に深く感銘を受けたことを今でも覚えています。そこには、私が模索していた「経営者としての在り方」が言葉として明確に記されており、今もお読みたびに新たな気づきがあります。◎今回私が触れるのは、「元を忘れず、末を乱さず」という教えです。秋田県倫理法人会においても、設立の経緯やその時の想い、支えてくださった方々の存在を振り返ることは、非常に意義深いことだと思

います。日々の実務に追われていると、どうしても「手段」に意識が向き、「目的」を忘れてしまいがちです。そのようなときこそ、自らの「在り方」を思い出す必要があるのではないでしょうか。◎「在り方」を再確認するには、先人の話に耳を傾けることや、それを受けとめる純情(すなお)な心が何より大切です。今回の「35周年記念式典」では、まさにその「オリジン」に触れ、目的を見つめ直す貴重な機会となりました。そして、これまで築いてこられた先人たちの努力に心から感謝し、私自身もこれから何が出来るかを深く考えるきっかけになりました。◎これからも「元」を大切に、「目的」に向かって真摯に歩み続けていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員長 二方淳介

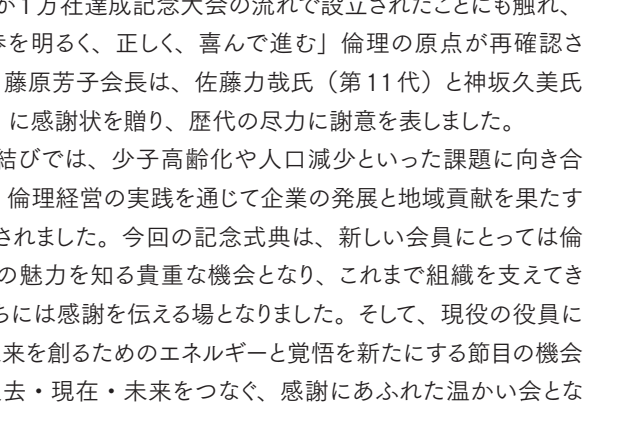
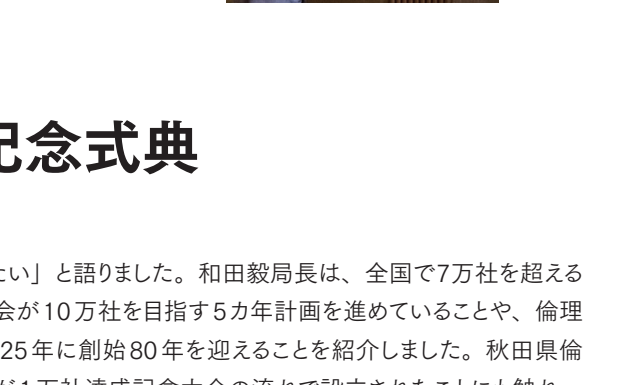


秋田県倫理法人会

メイン写真) 県会長 藤原 芳子より35年継続会員へ感謝を込めての表彰 左から①株式会社ホリエ 堀江 重久氏 ②株式会社都亭 工藤 勝哉氏 ③株式会社秋田クボタ 白石 光弘氏 ④株式会社長谷駒組 長谷川 尚浩氏 ⑤株式会社かおる堂 藤井 明 氏 ⑥株式会社モリタ 盛田良次氏 ⑦株式会社東和 野口 久栄氏



編集後記

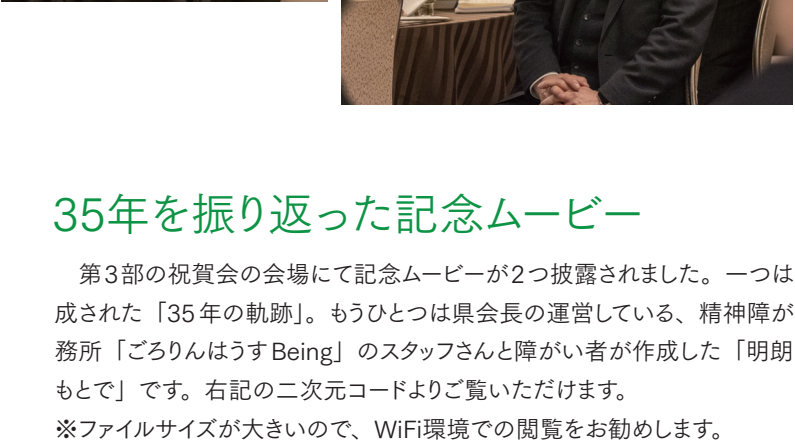


祝賀会の会場は、感動と決意で一体に

第3部の祝賀会では、秋田県知事・鈴木健太氏をはじめ、男鹿市長・菅原広二氏、横手市長・高橋大氏、秋田市長・沼谷純氏より祝辞を頂きました。皆様は、倫理法人会での学びと実践を通じて得た組織づくりの姿勢に触れながら、「共に秋田県をより良くしていこう」と力強く語られました。

また、35年継続会員の皆様へは、感謝を込めて記念品と花束が贈られ、長年の歩みを称える感動の時間となりました。

中締めでは、伊藤辰郎 相談役が「今秋田には爽やかな刷新という名の風が吹いている。倫理の学びと実践を通じて、より良い会社と地域を築いていこう」と呼びかけ、参加者の思いがひとつになる場となりました。



【1】式辞:法人局／和田 毅 局長 【2】朝礼発表:株式会社 大館工芸社 【3】朝礼発表:株式会社 小野建設 【4】感謝状贈呈:11代会長 佐藤 力哉 氏、13代会長 神坂 久美 氏 【5】会員オリエンテーション:宇都 進 方面長 【6】経過報告:佐藤 良一 幹事長

過去・現在・未来をつなぐ感謝にあふれた会 秋田県倫理法人会 設立35周年記念式典

■令和7年5月12日(月) ■ホテルメトロポリタン秋田

秋田県倫理法人会は5月12日、設立35周年記念式典をホテルメトロポリタン秋田で開催しました。県内の役員や入会5年以内の会員を中心に92名が参加し、これまでの歩みを振り返るとともに、今後への決意を新たにしました。

記念式典前の第一部では会歴が5年以内の会員向けにオリエンテーションが開催されました。宇都進方面長が登壇し、「倫理法人会活動について」と題して講演しました。倫理法人会は、経営者の自己革新と経営力向上を目指す「経営者モーニングセミナー」を中心に活動しており、倫理経営が企業の成長と社会貢献に結びつくことが語られ、全国に広がる純粋倫理の学びの意義についても触れられました。続いて、株式会社小野建設と、株式会社大館工芸社による「活力朝礼」実演が行われ、社員が一体となる職場づくりの様子が披露されました。

第2部では佐藤良一県幹事長が35年の歩みを振り返り、歴代役員や会員への感謝を述べ、「モーニングセミナーの充実と会員拡大

に注力したい」と語りました。和田毅局長は、全国で7万社を超える倫理法人会が10万社を目指す5カ年計画を進めていることや、倫理運動が2025年に創始80年を迎えることを紹介しました。秋田県倫理法人会が1万社達成記念大会の流れで設立されたことにも触れ、「一步一步を明るく、正しく、喜んで進む」倫理の原点が再確認されました。藤原芳子会長は、佐藤力哉氏（第11代）と神坂久美氏（第13代）に感謝状を贈り、歴代の尽力に謝意を表しました。

式典の結びでは、少子高齢化や人口減少といった課題に向き合いながら、倫理経営の実践を通じて企業の発展と地域貢献を果たす決意が示されました。今回の記念式典は、新しい会員にとっては倫理法人会の魅力を知る貴重な機会となり、これまで組織を支えてきた先人たちには感謝を伝える場となりました。そして、現役の役員にとっては未来を創るためのエネルギーと覚悟を新たにす節目の機会となり、過去・現在・未来をつなぐ、感謝にあふれた温かい会となりました。

35年を振り返った記念ムービー

第3部の祝賀会の会場にて記念ムービーが2つ披露されました。一つは広報委員会で作成された「35年の軌跡」。もうひとつは県会長の運営している、精神障がい者就労支援事務所「ごろりんはうす Being」のスタッフさんと障がい者が作成した「明朗・愛和・喜働のもとで」です。右記の二次元コードよりご覧いただけます。
※ファイルサイズが大きいので、WiFi環境での閲覧をお勧めします。

35周年の軌跡
～広報委員会

明朗・愛和・喜働の
もとで～ごろりんはうす

